

野外教育情報1号～21号までの目次

第1号(1997年10月発行)

- 自然環境で「ゆとり」を再発見する 江田昌佑
- 子どもの感性を豊かにする自然体験活動の考え方 土井浩信
- 我が国の野外教育活動の動向 平野吉直
- 学校教育における自然体験活動の改善 土井浩信
- 野外教育活動の評価を考える 野口和行
- 安全から見た野外教育活動の視点 鶴川高司
- 野外教育プログラムの効果的な立て方 古屋顕一
- プロジェクト・アドベンチャーの考え方とその方法 久保田康雄
- パッケージド・プログラムとは 鶴川高司
- パッケージド・プログラムについて-IORE(アイオレ)シートについて- 野口和行
- 支部報告 生涯学習系における野外教育の位置づけ-小学校での環境教育指導- 愛知県名古屋支部
- アウトドアゲーム指導法講習会実施報告 日本教育科学研究所事務局

第2号(1998年3月発行)

特集:環境に目を向ける

- 自然を友とするために 三島次郎
- 野外教育と環境教育-府立高校総合学科の実践から 高田研
- 奥日光のシカと Oh Deer!というゲーム 青木章彦
- 随想 雪上の変奏 土井浩信
- 環境教育で大切にしたいこと 鶴川高司
- アメリカの学校教育における環境教育の実際 阿部和樹
- 情報校コーナー:特色ある環境教育を進める団体紹介
- ドングリをまいたら…芽が出るのかな? 藤本勇二
- 支部報告 水泳能力と小学生期の水辺遊びに関する調査研究 永木耕介
- アウトドアゲーム指導法講習会の報告 日本教育科学研究所事務局
- パッケージド・プログラムの実践事例-IORE(アイオレ)シートによる- 野口和行
- 自然や友達とふれあった驚く木(小学校での野外活動の実践例) 静岡県 牧之原小学校

第3号(1998年10月発行)

特集:安全を考える

- 野外における安全を考える 水沢利栄
- 冒険・安全・危険 高野孝子
- 冒険活動と「心の安全」 林寿夫
- 野外活動における法的責任-キャンプ活動を中心として- 伊藤堯
- 野外活動と保険 町頭隆児
- トータルセイフティを目指しての安全学習-子ども会 KYT 学習の概要- 宇田川光雄

- 野外教育活動の安全チェックリスト 平野吉直
- バードウォッチングをゲーム化してみたら…主体的な自然観察をねらいとして 山野浩平
- 体験活動とメディア 黒田卓
- アウトドアゲーム指導法講習会の報告 日本教育科学研究所事務局
- パッケージド・プログラムの実践事例-IORE(アイオレ)シートによる-

第4号(1999年3月発行)

特集:さまざまに楽しむ野外活動

- 鳥になった少年“障害者カヌーと冒険” 辰野勇
- 高齢者の生活の活性化とアウトドアライフ 石田易司
- 中高年者の登山・ハイキング 瀧深徹
- 障害者とスキー-チェアスキーとそのトレーニング- 櫻井優司
- 幼児と楽しむキャンプ-江川キャンプの実践記録- 石綿敬一
- 障害者キャンプの実際-「木の実の森」における実践- 仁田坂洋子
- ヒマラヤに暮らすよろこび 戸高優美

第5号(1999年11月発行)

特集:いろいろな「自然学校」

- 野外教育を推進する「自然学校」 平野吉直
- 「生活体験学校」の施設と運営-民間と行政の新たな連携が育てた「通学合宿」 正平辰男
- 無人島に“生きる”-豊かな生活とは 一宮浩
- 進学塾における野外教育-石川県能登島「キッズランド」の運営 成田裕
- 合宿センターの昨日、今日、明日-過疎村における村立野外教育団体の活動 吉田哲也
- 環境教育施設の作り方と運営のしかた 稲本裕
- 日本の環境教育のレベルアップのために-意識や関心が集まるテーマ・コミュニティをめざして 角南明子
- 長野県飯綱高原の自然の中で 内田幸一
- 自然と共に生活し、学ぶこと。地域、そして自分に還ること!-地域という財産を発掘する自然学校を目指して 佐々木豊志

第6号(2000年3月)

特集:自然をみる

- 「自然をみる」こと 土井浩信
- 自然風景と風景写真 信太一高
- 海中での自然観察-フィッシュウォッチングの楽しみ方と観察記録 山崎宏之
- 真っ新たな心で… 小松崎哲一
- 日本列島を教科書に、ザックを背負い、歩いて学ぶ-やまさんの千里道場の取り組み 山浦正昭
- 甲斐駒ヶ岳とわたし 成澤正通
- ポニーとともに自然体験-不自然さと違和感を乗り越えるために 石川保夫
- 自然をみる、暮らしをみる-農山村からの環境教育的アプローチ 河合佳代子
- 農業を通して自然をみる

第7号(2000年11月)

特集:身近な場所で

- 地域の自然と文化をいかした環境学習 樋口利彦
- 冒険遊び場・毎日の子どもからのメッセージー羽根木プレーパークでの身近な活動 嶋村仁志
- 何故いま野あそびなのか 中村重行
- 大都市地域の環境教育の拠点:横浜自然観察の森ーその事業を支える友の会の活動 松田久司/小杉慶子
- 「みんなの森」の“ちょっとだけ”キャンプ 片桐公彦
- 子ども達に多くの感動を…ネイチャーキッズスクールを通して 黒澤毅
- 身近な場所で、身近な人とー自然学校「ふる里あったかとお」の活動 菊地美智世
- 身近な場所でー田舎流野外教育論の提唱 菊屋奈良義

第8号(2001年3月)

特集:野外教育の指導者

- 今求められている野外教育の指導者像 星野敏男
- 自然教育を推進する指導者 小林毅
- 冒険教育の指導者とは 佐藤知行
- リスクマネジメントと指導者 佐藤初雄
- 知的障害児キャンプの指導者ー寄り添う仲間としての関わりー 金山達也
- 野外プログラムの体験学習法による指導ープロセスに目を向け、参加者主体の教育を目指してー 田中裕幸
- 「キャンプなつきあい」を通してー静岡県キャンプカウンセラー協会の取り組みー 太田正義

第9号(2001年11月)

特集:冬のプログラム

- Teachable Moment が豊富な冬の活動 土井浩信
- 冬の森は起きている…?!ー朝日の森からのメッセージー 米村博実
- 冬の自然を五感で感じるネイチャーゲーム 降旗信一
- いつ来てもいつ帰ってもいいキャンプ冬ー子ども達が自ら考え自ら楽しむ雪上キャンプのプログラム 穴沢剛行
- ネイチャースキーの世界ー雪の森の中でー 宮川知之
- ホールアース自然学校の冬のプログラム 中澤朋代
- 冬を超す生き物を探す楽しさー冬に学ぶ総合的な学習活動ー 露木和男
- 雪原を歩くための道具たち 鶴川高司

第10号(2002年3月)

特集:つくる

- いろいろなものを「つくる」ー竹の食器づくりを中心にしてー 野沢巖
- ものをつくることー子どもたちにもっとものづくりを 佃正壽
- 修学旅行生徒のものづくり体験ー子どもたちに伝えたい故郷の文化ー畔上正雄

- 森の恵みからつくる“総合的な学習”対応プログラム 勝俣将明
- 自然のありがたさが伝わる蜜ロウソク 安藤竜二
- イメージする、表現する、発表するー「つくる」ことを中心としたアウトドアゲームのプログラム 野口和行
- カヌー・ヨットをつくる楽しさ 山本茂紀
- わたしの道具箱 鶴川高司

第11号(2003年1月)

特集:心をはぐくむ

- 野外学習における豊かな心の活動 新宮弘識
- 心をはぐくむ森林体験 大石康彦
- 響き合える対話から心を育むー自然学校が寄宿生活を通じて試みる“心を育む”取り組みー 佐々木豊志
- 心を癒やし、心を育むキャンプーアメリカのアウトドア体験療法ー 坂本昭裕
- 『ヨイク』への旅ー声の芯で伝え、声の芯で聴くー 田中浩史
- 現代っ子の体験活動ー子どもの体験活動等に関する調査からー 平野吉直
- 海プログラムを通しての心の成長ー「リトルエンゼル無人島探検隊」の試みー 大貫映子
- 長期キャンプで成長する子どもの心ー30泊31日の長期キャンプでの子どもの成長
- 自然体験活動と「食」 鶴川高司
- 小さな森のコンサート 土井浩信
- IORE シートにまつわるエトセトラ 野口和行

第12号(2004年1月発行)

特集:川へ行こう

- 私たちと川のつながり 野口和行
- 川に遊び、川に学ぶー学校に隣接した庄内川を活用した総合的な学習プログラムー 名古屋市立志段味西小学校
- 水辺活動の安全と対策ーカヌー活動を中心にして、水辺に潜むリスクについて 森下洋行
- 川、水辺で取り組む環境教育活動 河合佳代子
- ダム・湖でのさまざまな活動 井上忠夫
- 沢登りの楽しさ 金子宗一郎
- カヌーはアウトドアスポーツの原点 齋藤秀夫
- 河川での遊び方と安全管理 北川健司
- 川や池の生き物に親しむー里山への郷愁を込めてー 露木和男

第13号(2005年1月発行)

特集:海外事情

- 英国の野外教育の歴史と動向 高野孝子
- フランスの野外教育・自然体験ー資格をもった指導員と過ごす数週間ー 田崎徳友
- アウトワード・バウンド(Outward Bound)の世界 濱谷弘志
- マレーシア熱帯雨林の森でのアドベンチャーキャンプーオリンピック候補生たちとチャレンジした4日

間一 益田悦子

- アジアのキャンプ事情—スリランカ平和キャンプレポートと台湾のキャンプ事情 清水幸一
- アメリカ・ヨセミテ国立公園における環境教育 西村仁志
- アメリカの野外教育事業—フロストバレーYMCAのキャンプを例に— 土谷隆
- オセアニアで得た小さな果実 土井浩信

第14号(2006年1月)

特集:小さな子どもと

- 子どもと自然体験 山田英美
- デンマーク“森のようちえん”で出会った「子ども力」—自然が引き出す「子ども力」「大人力」「生きている実感」— 小菅江美
- 乳幼児とお母さんの自然体験キャンプ—ママチルキャンプの試み— 増田由香子
- 子どもたちと自然の中へ—幼児期の野外活動の意味と指導者の役割— 浦田憲二
- より安全で充実した体験活動の企画と実践のために 永吉英記
- 自然が子どもを育む—和光保育園での野外体験活動の取り組み— 土肥保
- 「風ん子の会」で育ち合う母と子—子育てを通して育まれるもの— 戸高優美
- 自然環境をいかした幼児教育の取り組み—長野県飯綱高原「こどもの森幼稚園」の活動から— 内田幸一

第15号(2007年1月)

特集:海を楽しむ

- 海の楽しさと大切さ—海で元気に、海を元気に— 海野義明
- 「海への入り口」—ウォーターワイズを取り入れた国立室戸青少年自然の家の取り組み— 青木康太郎
- 海から学ぶ環境教育—町の小さな水族館の取り組み— 森拓也
- アクセスディンギーとセイラビリティ活動 西井信嘉
- 海での安全のために—子どもたちが海で活動する際に注意・理解しておくこと— 千足耕一
- もう一つの海の楽しみ—海のクラフト— 張本文昭
- 海を楽しむスノーケリング—もっと海を身近に感じよう、海の中を知ろう— 三好利和
- 海浜サバイバルの魅力 加藤優

第16号(2008年1月)

特集:食の体験

- 命を食べる 広瀬敏通
- 自然に生きる人々から学ぶ食と健康 川村協平
- 食農体験は生きる原点—“土・自然から学び共に生きよう”が合い言葉— 進士徹
- キャンプで育む子どもの食・ガス会社が取り組む食育活動—子どもの「食の自立」と「五感育成」を目指して— 小西雅子
- 「食」の採取活動に関わる野性の感覚 土井浩信
- キャンプ活動における「野外料理」の意味—「学校給食」と日本の食文化を考えながら— 後藤信郎

- 飯盒炊爨“うそ”“ホント”-美味しいご飯を炊く方法- 鶴川高司

第17号(2009年1月)

特集:学校の宿泊行事

- 学校の長期集団宿泊活動-有意義な宿泊行事を目指して- 平野吉直
- 生きる力を育む自然学校-兵庫県自然学校推進事業の取り組み- 高見彰
- 「本気」を育む冒険教育の実践-公文国際学園中等部が取り組む本物の体験「OBS」 梶谷耕一
- 生きる力を育む4泊5日の自然生活体験学習-支援委員を通じた学社融合の取り組み- 野原裕
- 「妙高フレンドスクール」の取り組み-『中1ギャップ』を未然に防ぐ新潟県妙高市の実践- 橋本晃
- 仲間との人間関係づくりをねらった宿泊学習-中学1年生のコミュニケーション学習- 尾臺美彰
- 新しい修学旅行のかたち:選択旅行-カヌーキャンプの体験事例- 飯塚学

第18号(2010年1月発行)

特集:プログラムづくり

- 野外における学習プランニングの基礎基本 土井浩信
- 野外活動のプログラムを考える-自然学校が運営する少年自然の家から- 杉浦俊之
- 幼児と母の野外活動-森で母と子が生き生きと動き出す- 小菅江美
- 参加型・参加者主体型・参画型の野外教育・環境教育プログラム-トヨタ白川郷自然学校のこころみ- 西田真哉
- 国の施策から野外活動プログラムをつくる-国立妙高青少年自然の家での企画-キャンプとお手伝いの旅- 瀧直也
- サッカーチームのキャンププログラム-サンフレッチェ広島スプリングキャンプから- 高瀬宏樹
- 大学における指導者養成を目指した野外教育プログラム-信州大学教育学部の授業「野外教育」の取り組み 平野吉直
- いま一度“アイスブレイキング”について考える 鶴川高司
- 自然と人をつなぐパッケージド・プログラム-アメリカの最近の動向も添えて- 野口和行

第19号(2011年1月発行)

特集:木・林・森の活動

- タネから木に、そして森ができて... 渡辺隆一
- 人の心に木を植える 畠山重篤
- 森林を活用した野外教育活動の可能性-持続可能な社会に向け、[ふれあい]から[自然環境]や[森林資源]への展開- 大石康彦
- 森で遊ぶ・森から学ぶ体験活動の実践例-大人も子どもも楽しめる自然学校のプログラム-齋藤みゆき
- 森林のめぐみ「木炭」ではじめるエコライフ 菊池一成
- 里山の保全・再生、それを活用した自然体験活動-里山への関心を呼び起こす体験プログラム

の提案ー 塚本秀貴

- 大学の森の森林環境教育と自然学校ー持続可能な農山村の地域づくりを目指してー 井倉洋三
- 森を楽しむための安全上の留意点 土井浩信
- アメリカにおける森林や身近な自然を活用した教育プログラムーノースカロライナ州の事例を中心にー 野口和行

第20号(2012年1月発行)

特集:自然体験活動の意義

- 自然体験活動の意義について考える 星野敏男
- 今、試されている「生きる力」ー震災体験を通じて自然体験活動の意義を考えるー 佐々木豊志
- 幼児期の自然体験と保育 槇英子
- LIVE『共に生きる』ー横須賀学院中学校におけるステップアップ式体験学習 小出啓介／高山昌紀
- 同じ場所で同じことを楽しむー知的障がいのある子どもたちとの自然体験活動を通してー 稲治大介
- だから今こそ、今の時代に必要な自然体験を!ー自然体験は必要なのだ。地球に生きる生き物としてー 桜井義維英
- 冒険教育の実践からーダイナミックな自然を舞台にした人間教育ー 濱谷弘志
- 子どもたちと指導者が共に育つ自然学校ーガイア自然学校の取り組みからー 成田裕
- 棚田学習がつなぐ地域と学校ー自然体験活動が引き出す棚田の可能性ー 藤本勇二

第21号(2013年1月発行)

特集:山に登る

- 登山と野外教育ー野外教育史から見た登山ー 井村仁
- みんなで山に登るー野外教育の指導者と連携してつくる合宿計画ー 西村徳行
- 山での教育ー青少年教育施設での登山活動ー 福富優
- 私たち山ガールです!ー山に魅了される女の子たちー 安仁屋円香
- 日本の登山事情と白馬岳の魅力ー 松沢謙一
- 登山における安全管理ー指導者として安全に活動を提供するにはー 濱谷弘志
- トレイルランニングの魅力 横山峰弘
- 冒険教育プログラムの方法と意義ーアメリカの学生はなぜアウトドアで活動するのかー マーク・ワグスタッフ

第22号(2015年1月発行)